

# 伝統受け継ぎ 飛躍誓う

## ～県立音楽堂で90周年記念式典～



90周年を盛大に祝った式典



発行所  
金沢市泉本町3-111  
金沢高等学校  
新聞部・文化委員会

### 校訓と教育理念

質実剛健の  
気風を高揚し  
共に求める真理  
共に育む友愛  
共に尊ぶ礼節  
共に鍛える心身

本校創立90周年記念式典が10月19日、金沢市の県立音楽堂で行われ、生徒や教職員、卒業生等約1500人が節目の年を祝い、100周年に向けてさらに飛躍することを誓い合った。

### 1500人が 節目を祝う

本校は昭和3年に男子の私立中学として創立され、以来約2万8千人の卒業生を輩出し、昨年90周年を迎えた。式典では河合敦夫理事長が「卒業生が築いた歴史と伝統のおかげで現在恵まれた環境の中で学べることに感謝し、生徒一人ひとりが大樹のようにたくましく育つことを期待する」と式辞を述べた。



演奏するオーケストラ・アンサンブル金沢

続いて杉浦外美夫校長は「私学ならではの特色ある教育の追求に向け、新たな価値を創造するための教育に積極的にチャレンジしていく」と挨拶した。同窓会の水野浩史会長は「同窓会会員の交流のさらなる活性化と生徒への支援を増やしていきたい」と思いを語った。

生徒を代表して中村愛佳さん(3年3組)が「多くの先輩方が苦難を乗り越え、今の金沢高等学校があることに感謝し、自分自身も長い伝統を守ってきたい」と話した。続いて行われた記念コンサートでは、本校卒業生で桐朋学園大音楽学部1年生の西川璃南さんがピアノ演奏した。第2部ではオーケストラ・アンサンブル金沢による公演があり、演目の最後には本校の校歌が演奏され、生徒たちは優雅な音色に聴き入っていた。

### 主張

## 挑戦から冒険が始まる

### 「民間人の宇宙旅行」が現実になる

「民間人の月旅行」というSF映画のような話が現実味を帯びてきた。ファッション通販サイト「ZOZOTOWN」の前澤友作社長をはじめとする、民間人を乗せる大型ロケットのツアーが昨年発表された。

このツアーは2023年に打ち上げ予定で、1週間弱かけて月を往復する予定だ。宇宙事業を手がける、米国の「スペースX」社製の超大型ロケットを使って行われ、世界初の民間人の宇宙旅行となる。

類の未知なる世界を開拓する大きなきっかけを作ってくれたのかもしれない。これまでの価値観が崩壊し、流れによって急激に変化することを実感した。

同様の変化が、宇宙旅行のアップルやZOZOTOWN

この月への民間人の冒険

かなりの衝撃を受けた。それは自分にとって「スマートフォン」の出現という出来事を思い出させるものだったから。

幼い頃、携帯電話は「ガラケー」しかなかったが、アップル社が、この流れを委ね、人

場でも起きようとしているのではないかと。長期間の専門的訓練を受けた宇宙飛行士のみが宇宙に行けるという状況ではないだろうか。ZOZOTOWNは「洋服は店で買うもの」という概念を壊

は、また序章に過ぎないと思う。今後多くの人類が宇宙に繰り出していくと考えられる。技術の進化のスピードはさらに加速していくであろう。

- ### 平成30年度後期 生徒会執行部
- 会長 吉田 成希 (2年5組)
  - 副会長 秦 琳花 (2年1組) 吉田 琉希 (2年6組)
  - 書記 山之内瑛祐 (2年4組) 中島 広貴 (2年5組)
  - 会計 森 彩華 (2年4組) 任田 菜乃 (1年11組)
  - 執行委員 稲江 旦 (1年2組) 古川 怜志 (1年7組) 浅野 大生 (1年9組) 小島 瑠唯 (1年11組)

### 新執行部に インタビュー

執行部のメンバーにインタビューを行ったところ、会長

### 小さなことから貢献を

後期生徒会執行部活動中

平成30年度後期生徒会執行部は10月2日に選出され、2年生6名、1年生5名の計11名が活動を行っている。多くの1年生が加わり新しい風が吹く執行部は、あいさつ運動や募金活動を通じて学校に貢献しようという日々励んでいる。



息の合ったダンスパフォーマンス

## 90回金高祭 「半端ない」団結力

第90回金高祭が9月10日、11日の2日間に渡って開催され、1年生は展示や発表、2年生はダンス、3年生は模擬店を行った。全校生徒が懸命に準備した成果が発表され、各クラスの団結力や持ち味が光り、来場者を楽しませた。

### 新企画 盛りだくさん

ステージの1日目は吹奏楽部による演奏のほか、この日

### 赤団が優勝飾る 「平成最後」の体育祭

体育祭は9月27日、本校グラウンドで行われ、「平成最後」に刻む「金高魂」のもと、各団が勝利を目指して競い合った。

優勝したのは2年2組が4点を勝ち取った赤団で、黄団が4点5点となり、青団が3点7点、白団が3点4点、黒団が3点4点だった。



騎馬戦で激しく競う生徒たち

「積極的に意見を出して、生徒会メンバーをリードしたい」と意欲を見せ、吉田琉希君は「生徒がよりよい生活を送れるように生徒会をまとめて行動していきたい」と話した。

「生徒が集まり、人気の店の前には行列ができる賑わいぶりだった。また校舎全体で『生徒会を探せ!』という新企画のほか、カラオケ、ストラックアウトなどの参加型のイベントが多数あり、2日間では到底制覇できないほどの内容となっていた。



募金活動に励む執行部メンバー

「積極的に意見を出して、生徒会メンバーをリードしたい」と意欲を見せ、吉田琉希君は「生徒がよりよい生活を送れるように生徒会をまとめて行動していきたい」と話した。書記の山之内瑛祐君と中島広貴君は「責任感を持って行動し、一日一善を実行したい」と語り、会計の森彩華さんと任田菜乃さんは「行動に責任を持って活動することを目指したい」。

# 金高

## 柔道 団体 男子2位 女子3位

県高校新人柔道競技は11月8日から10日にかけて、県立武道館で行われた。本校柔道部は団体で男子2位、女子3位となった。個人では男



内股をかける戸田君(右)

子66kg級で関野菜生君(2年12組)が優勝、女子57kg級で山田君(2年7組)が優勝した。個人では男子66kg級で関野菜生君(2年12組)が優勝、女子57kg級で山田君(2年7組)が優勝した。個人では男子66kg級で関野菜生君(2年12組)が優勝、女子57kg級で山田君(2年7組)が優勝した。

- 【県新人大会結果】
- 男子個人
    - 66kg級 関野菜生(2年12組) 優勝
    - 73kg級 井本郷(2年11組) 5位
  - 女子個人
    - 57kg級 山田君(2年7組) 優勝
    - 78kg級 齊藤綾南(2年2組) 3位
    - 78kg超級 入口紫緒里(2年11組) 2位

県高校新人剣道競技は11月8日から10日にかけて、津幡運動公園体育館で行われた。本校剣道部は男子団体、女子団体がともに優勝し、王者の覇を誇った。



鋭く攻める山田君

- 【県新人大会結果】
- 男子団体
    - 金沢 2-1-1 金市工
    - 金沢 4-0 桜丘
    - 金沢 2-2 羽咋
    - 決勝 金沢 3-1-2 羽咋工
  - 女子団体
    - 金沢 3-0 魁若川
    - 金沢 3-0 大聖寺
    - 金沢 0-1 羽咋
    - 準決勝 金沢 3-0 星稜
    - 決勝 金沢 3-0 羽咋

## 剣道 団体男女制覇 男子は2連覇達成

県高校新人バスケットボール大会が11月8日から11月11日にかけて、小松市立体育館等で行われ、本校男子バスケットボール部は4位の結果となった。



ドリブルで攻め込む高橋君

- 【県新人大会結果】
- 男子バスケット
    - 2回戦 金沢 114-53 石葺尊
    - 3回戦 金沢 95-62 膳学園

## 男子バスケット 雪辱を期す

県高校新人水泳競技は9月2日、白山市松任総合運動公園プールで行われ、本校水泳部は男子が昨年に続き総合優勝とならず、惜しくも2位となった。

- 【県新人大会結果】
- 男子個人
    - 50m自由形 大久保知哉(2年12組) 8位
    - 400m自由形 館田信次郎(1年13組) 3位
    - 1500m自由形 杉山蓮(1年5組) 5位
    - 800m自由形 館田信次郎 2位
    - 1500m自由形 杉山蓮 3位
    - 50m背泳ぎ 村本成(2年3組) 4位
    - 100m背泳ぎ 加藤史也(1年11組) 5位
    - 1000m背泳ぎ 林拳士朗(1年3組) 3位
    - 50m平泳ぎ 加藤史也 4位
    - 200m個人メドレー 大西伊斗(2年2組) 5位
    - 1000m平泳ぎ 女子総合 4位

同じく本校女子バスケットボール部は、準々決勝で津幡に敗れ、ベスト8となった。部長の高嶋亜衣さん(2年11組)は「強豪の津幡の胸を借りるつもりで試合に臨みま

した。練習を重ねたディフェンスで対戦できたことがいい経験になりました。新たな課題と次の試合に向けて頑張っていきます」と語った。



ゴール下で競う高嶋さん

県高校新人弓道競技が11月8日から10日にかけて、県立武道館で行われ、本校弓道部は森下優沙さん(2年2組)が個人戦で6位に入賞を果たした。

- 【県新人大会結果】
- 男子個人
    - 予選 3中/32射
    - 女子団体 9中/32射
    - 女子個人戦 森下 優沙 6位

この悔しさを忘れず、もっと上を目指して頑張りたいです」と語った。

- 【北信越県大会結果】
- 2回戦 金沢 5-13 寺井
  - 3回戦 金沢 16-10 七尾
  - 準々決勝 金沢 4-13 星稜
  - ベスト8

## 野球 北信越大会 ベスト8

吹奏楽部とバトントワリング同好会によるサマーコンサートは7月21日、県文教会館で開催され、保護者やOBらが多数詰めかけ、日頃の練習の成果を鑑賞した。

- 【吹奏楽部】
- 吹奏楽部とバトントワリング同好会によるサマーコンサートは7月21日、県文教会館で開催され、保護者やOBらが多数詰めかけ、日頃の練習の成果を鑑賞した。

吹奏楽部とバトントワリング同好会によるサマーコンサートは7月21日、県文教会館で開催され、保護者やOBらが多数詰めかけ、日頃の練習の成果を鑑賞した。

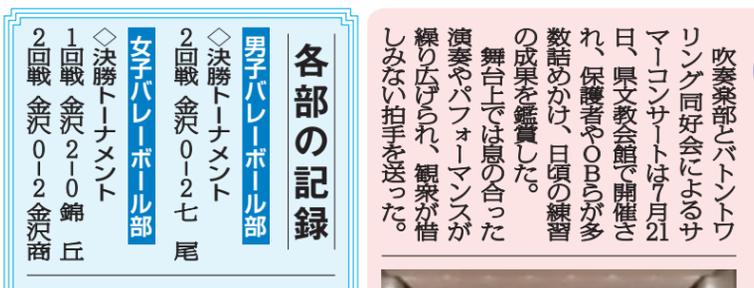
吹奏楽部とバトントワリング同好会によるサマーコンサートは7月21日、県文教会館で開催され、保護者やOBらが多数詰めかけ、日頃の練習の成果を鑑賞した。

## 各部の記録

- 男子バレーボール部
  - 決勝トーナメント 2回戦 金沢 0-2 七尾
- 女子バレーボール部
  - 決勝トーナメント 1回戦 金沢 2-10 錦丘
  - 2回戦 金沢 0-2 金沢商
- バドミントン部
  - 男子団体 2回戦 金沢 1-3 金沢西
  - 女子団体 2回戦 金沢 0-3 金沢学院
- ボウリング同好会
  - 2人チーム戦 金沢 A 18位
  - 金沢 B 24位



吹奏楽部とバトントワリング同好会によるサマーコンサートは7月21日、県文教会館で開催され、保護者やOBらが多数詰めかけ、日頃の練習の成果を鑑賞した。



吹奏楽部とバトントワリング同好会によるサマーコンサートは7月21日、県文教会館で開催され、保護者やOBらが多数詰めかけ、日頃の練習の成果を鑑賞した。

新人大会特集

県高校新人大会は9月から11月の期間に県内各地で行われ、各部、同校会の選手たちが熱戦を繰り広げた。

Soul 魂

7年連続 8度目優勝!

ソフトボール

県高校新人ソフトボール競技は、10月26日から27日にかけて門前総合運動公園で行われ、本校ソフトボール部は決勝を6-1で破り、7年連続8度目の優勝を成し遂げた。



優勝旗を手に笑顔の選手たち

【県新人大会結果】 2回戦 金沢10-0 星稜 準決勝 金沢8-0 金沢西 決勝 金沢6-3 津幡 優勝

【北信越大会結果】 2回戦 金沢3-0 中野(長野) 準決勝 金沢1-0 三國(福井) 決勝 金沢0-2 津幡 準優勝

男子・女子 テニス 2年連続 アベックV



激しく打ち合う源君

男子団体3年連続12回優勝 県高校新人テニス競技は9月13日から16日にかけて、辰口丘陵公園テニスコート等で行われ、本校男子テニス部は団体で3年連続12回目の優勝を果した。

【県新人大会結果】 2回戦 金沢5-0 小松 3回戦 金沢3-0 栗原 準決勝 金沢3-0 余賀 優勝

少林法 「仲間と共に」 団体3位



気合のこもった演武をする蔵さん

【県新人大会結果】 男子 自由単独演武 藤本智也(1年9組) 5位

【北信越大会結果】 規定単独演武 森雅弥(1年1組) 3位 自由単独演武 山口実聡 7位

陸上 山田走高跳 優勝



走高跳で優勝した山田君

【県新人大会結果】 男子 100m 山岸立輝 5位 400m 山田いつる 7位 1100mH 中村厚希(1年13組) 3位 400mH 志賀貴真(2年8組) 8位 4x400mリレー 山崎開喜(1年13組)・山岸・武田瑞生(2年8組)・山田 7位

【北信越大会結果】 走高跳 山田いつる 3位

女子2年連続2回優勝

【県新人大会結果】 2回戦 金沢1-4 警備(福井) 順位決定戦 1回戦 金沢1-3 上田(長野) 優勝

【北信越大会結果】 団体戦 2回戦 金沢2-3 新鷺(新潟) 順位決定戦 金沢3-1 水橋(山形) 優勝

【県新人大会結果】 1kmタイムトライアル 谷村慶幸 2位 3kmタイムトライアル 谷村慶幸 優勝

【北信越大会結果】 1kmタイムトライアル 谷村慶幸 2位 3kmタイムトライアル 谷村慶幸 優勝

【県新人大会結果】 1回戦 金沢0-3 金沢商 優勝

自転車競技 全国大会出場決めた



全国への切符を手にした谷村君

県高校新人自転車競技が11月8日、県立自転車競技場で行われた。本校自転車競技部は総合成績で2位となり、3月に開催される全国選抜大会への出場が決定した。

【県新人大会結果】 卓球 準々決勝 金沢0-3 金沢商 優勝

ベスト8

【県新人大会結果】 卓球 準々決勝 金沢16-38 小松工業 優勝

ハンドボール 新チーム新たな挑戦



シュートを打つ三木君

【県新人大会結果】 1回戦 金沢1-0 泉丘 準決勝 金沢1-3 星稜 優勝

サッカー 次年度こそは



相手選手と競り合う選手たち

県高校新人サッカー競技が11月8日から10日にかけて、能登島グラウンド等で行われ、本校サッカー部は準々決勝を星稜に敗れ、ベスト8となった。

特集

# 被災地の力になりたい

## 高校生ボランティア活躍中

**2年生4人が 倉敷で活動**

死者が2000人を超え、平成最悪の水害となった西日本豪雨の復旧ボランティアに、本校の2年生4名が参加していた。そのメンバーの1人である高田祥次君(2年3組)は、被災地の状況を知ってボランティアに行くことを決意し、担任の吉尾一郎先生やサッカー部の仲間とともに車で現地へ向かった。

8月11日、倉敷市のボランティアセンターで仕事の割り当てを受けた後、6時間近くにわたって復旧作業を手伝った。現地は家などの建物が半壊し、土砂が流れ込み、被災者は学校の体育館で避難生活を送っていた。

家の周りは瓦礫や木材が約2メートルも積み上がり、くぎ等の危険物を踏まないよう注意しながら、ひたすら撤去や運搬に汗を流した。高田君は「実際に現地に行くことで、はわからない災害の大変さがわかった」と振り返り、機会があればまた支援に行きたいと語った。



豪雨災害に見舞われた倉敷市真備町 (NHKホームページより)

平成30年は6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、9月の台風等、自然災害が多発した年だった。それと同時に、「スーパーボランティア」をはじめとする被災地で活躍するボランティアの人々も注目を集めた。ボランティア活動が身近なものとなった今、高校生である我々若者ができる被災地支援の在り方を考えていきたい。



被災地支援を振り返る2年生

**15歳以上で 登録できる**

では、高校生が被災地支援をしたいと思った時、どのようなすればよいのだろうか。実は石川県には平成27年から「石川県災害ボランティアバンク」という登録制度があり、15歳以上の人が登録する



県庁でボランティアバンクの取材をする新聞部員

「自発的に 行動」を

昨年、バンクに登録したメンバーを含む石川県のボランティアが、豪雨被災地となった広島県江田島市で復興支援活動を行っている。実際にボランティア活動を行う時の心構えについて、県民交流課の高橋正人主任と天澤和佳主任は「現地での活動は、安全・健康管理を含めてすべて自己責任となるので、現地に負担をかけるような自発的な行動してほしい」とアドバイスしてくれた。



最終発表を行う生徒たち

**テーマは 「50センチ革命」**

同事業はこれからの社会を生き抜く若者の生きる力を高めることを目的に、起業家マインドを育てる機会として今年度初めて行われ、全国で各校が実施校として選ばれた。ベンチャー企業の代表者等を講師に招き、「起業しても成し遂げたい」という自分自身の価値観を発見しようという試みだ。

「50センチ革命」をテーマに、部活動や勉強等、自分の身の周りで改善すべきと感じたものを題材として、具体的な解決策を考案発表した。最終発表では、食生活、スマー



審査員によるトークセッション

トフォンの利用がテーマとして議論された。審査員として参加した企業の経営者やNPO法人の代表者等は「その思いを忘れず、解決策を考案し続けることが大事」と論評した。

参加した飯田彩文さん(1年3組)は「違和感や疑問をたまたま思っただけに終わらせず、どうやって解決していくのかを考え、毎日の生活に役立てていきたい」と感想を語った。今回参加した生徒はそれぞれが見つけた思いをもとに、夢に向かって羽ばたいてほしい。

**編集後記**

今更部を引張っていただいた先輩が引退され、今回から自分が部長となったことで、今回の新聞作りは今更部とは比べものにならないほど大変に感じました。特に「主張」は、今までで最も苦心して作ったと言っ自負があります。その中で、「論じる」ことがどれだけ難しいかを痛感しました。至らない点が多い新聞ですが、これからも本校生徒の皆さんに楽しんでほしいという思いを込めて、これからも「50センチ革命」を作りますので、よろしくお願いいたします。

新聞部 部長 西田 京平(2年3組)

今回は学校行事が多い時期に作成していたので、かなり忙しかったです。しかし短い時間で集中して作成することができました。県庁へボランティアについて取材したとき、初めて知ったことや驚いたことなど貴重な話を伺わせて頂きました。今回、新聞作成に協力していただいた多くの方に感謝いたします。

則行 孝哉(2年3組)

初めで作った金高新聞で、分らないことばかりで大変でしたが、部員達に助けてもらい新聞の作業が楽しくなりました。そしてこれからも一生懸命新聞を作っていくと思います。

丸山 開(2年3組)

前回は担当する記事が増え、今回も先輩方や先生方たくさんの方の指導をいただきながら活動しました。インタビュー等の新しい挑戦の中、新聞作りのノウハウが少しずつ身につけてきたことを嬉しく感じています。この気持ちと周りの方々への感謝を忘れず、来年度の金高新聞に向け、更なる成長を目指します。

越田 涼子(1年4組)

では、インタビューで聞いた彼のプロフィールに加え、私になるほど感じた彼の留学に対する思いを記事に反映することができました。これからの新聞作成で、より幅広い面白記事を作るため、活動の一つとして自信を持ち、自分自身も楽しめるように頑張ります。

松岡 直哉(1年1組)

**金田君4000国体6位入賞**

本校陸上競技部の金田理希君(3年10組)は、10月に行われた第73回国民体育大会(福井)あわせ元気国体)で、少年男子A400mにおいて6位に入賞した。

金田君は「コンディションは十分だった。もっと上位を目指していたので悔しい気持ちもあるが、入賞できたことが何よりうれしい」と感想を述べた。大学に進学しても陸上を続け、将来は日の丸を背負って戦える選手になりたいと語っていた。

国体入賞の喜びを語る金田君

**目指せ! 起業家**

経済産業省による「学びと社会の連携促進事業・起業家育成プログラム」が、7月から8月にかけて本校で実施された。各学年の生徒13名が参加し、起業家マインドを持つ人材の育成を目指し、チームを作って問題解決に取り組んだ。

**日本で先生になるのが夢**

ステファン君は日本のアニメや和食に興味があり、将来日本で英語の先生になりたいという夢をかなえるため、来日した。現在やってみようとしている。

は、富士山に登ることを楽しみにしている。

高校生として日本とカナダの違いについて聞くと「カナダでは働く高校生が多いが、日本では少ない」と教えてくれた。

ステファン君はいつも元気よく挨拶し、とても親しみやすい。

カナダ出身のステファン・デモスキー君は、2学期から本校の留学生として1年1組で学んでいる。明るい性格ですっかり本校に溶け込んでいるステファン君に、いろいろな質問に答えてもらった。

笑顔で語るステファン君